「福音という真理の言葉を通して」　　2019 年 03 月 06 日

コロサイの信徒への手紙 1 章 3 節～8 節　わたしたちは、いつもあなたがたのために祈り、わたしたちの主イエス・キリストの父である神に感謝しています。あなたがたがキリスト・イエスにおいて持っている信仰と、すべての聖なる者たちに対して抱いている愛について、聞いたからです。それは、あなたがたのために天に蓄えられている希望に基づくものであり、あなたがたは既にこの希望を、福音という真理の言葉を通して聞きました。あなたがたにまで伝えられたこの福音は、世界中至るところでそうであるように、あなたがたのところでも、神の恵みを聞いて真に悟った日から、実を結んで成長しています。あなたがたは、この福音を、わたしたちと共に仕えている仲間、愛するエパフラスから学びました。彼は、あなたがたのためにキリストに忠実に仕える者であり、また、“霊”に基づくあなたがたの愛を知らせてくれた人です。

「著者」は、「わたしたち（パウロとテモテ）」と言い、いつもコロサイ教会のことを覚え、祈り、主イエス・キリストの父なる神に感謝していると初めに書いている。コロサイ教会の信徒たちがイエス・キリストに対して篤い信仰を持ち、信仰を同じくする聖なる者たちに対して抱いている熱い愛に生きていると聞いたから神へ感謝していると言う。キリストへの信仰は隣人への愛を生み出していくが、それは、天に蓄えられている希望に基づくものである。この希望を福音という真理の言葉を通して聞いた。神がイエス・キリストにおいて、私たちを無条件に無限に愛しているという福音の真理を聞いた者は、キリストを信じて、隣人を自分のように愛する者に変えられていく。神の恵みを悟り、愛において共に生きる希望の福音の喜びがコロサイ教会で広がり、今や、世界中至るところで展開されている。あなたがたの信仰が実を結び、着実に成長していると力説する。

ヨハネ黙示録 2 章、3 章に、天使が 7 つの教会に対し、信仰に励んでいる教会を称賛し、非難すべき教会には忠告を告げる言葉を記している。これら 7 つの教会は皆、エフェソに近く、パウロがエフェソに滞在していた時に、弟子たちの宣教によって、誕生した教会と思われる。7 番目に記されているラオディキア教会には、天使が「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。 熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている」と、手厳しい忠告を告げている。ラオディキア教会は、コロサイ書を回覧して読むように指示されており、近隣教会であった。パウロと弟子たちの宣教は力強く、みるみるキリストの福音は広がっていったことを物語っている。この事実を踏まえ、「著者」は、あなたがたが神の恵みを聞いて悟った日から、この福音は、世界中至るところで実を結んで成長していると書いている。聖霊降臨によってエルサレム教会が誕生して、30 年ほどしか経っていなかった。小さな新興の宗教団体であったにもかかわらず、世界を視野に入れた宣教を見据えている。福音に対する確信が言わせた言葉であろうが、彼らのスケールの大きさに圧倒される。

「著者」は、コロサイ教会の信徒たちはキリストに忠実に仕える仲間、愛するエパフラスから“霊”に基づく愛の福音を学んだと確認している。エパフラスはパウロと共に投獄を経験した人物（フィレモン 23 節）であり、初めて福音を伝えてくれた彼に対する敬意を忘れないように諭している。